

小平西のきずな

「小平西地区地域ネットワーク」ニュース No. 50

2024年6月11日（火）発行

発行責任者:草野篤子(白梅学園大学)

TEL: 042-346-5639

住所:〒187-8570 東京都小平市小川町1-830

巻頭言 学長に着任して

小玉重夫

(白梅学園大学・白梅学園短期大学学長)

2024年4月から学長に着任した小玉です。

本学の前身をなす1925年設立の社会教育協会は、その背景に大正デモクラシーや労働者の無産運動など、民衆の生活と権利向上を求める運動があり、セツルメントの活動などが基盤として存在しておりました。のちに白梅建学の理念ともなっていくヒューマンイズムは、そうした社会運動との関係を抜きにしては考えられないと思っております。また、設立に深く関わった社会活動家の小松謙助と法律学者の穂積重遠の存在も改めて考えなければならない点です。穂積は、いまちょうど、NHK朝ドラの『虎に翼』で主人公の恩師として登場している小林薫さん演じる穂高重親のモデルとなっており、女性の権利向上と平等な社会の実現をめざした先駆的位置づけで描かれているということもありますので、この穂積たちの思想と実践を、本学の今を支える重要な歴史的伝統としてあらためて見つめ直したいと思っております。

小平西地区地域ネットワークって何？

2012年3月17日に白梅学園大学関係者が様々なNPO、ボランティア団体、民生・児童委員、町内会、大学・学校などに関係する方々に呼びかけて「お互いの顔が見える人間関係が豊かな地域づくり」を目指して立ち上げました。個人ベース(団体の担当者でも可)の加入を基本とする開かれたネットワークです。市民の皆さん一緒に活動に参加なさいませんか？

私自身、学部の学生時代には、社会教育協会のあった文京区白山や小石川の地域でセツルメントの子ども会をやっておりました。そしてそうした経験が、自分の進路に影響したということもありましたので、白梅のヒューマンイズムを社会的なものとして受け継ぎ、発展させていきたいと考えております。とりわけ、社会的な格差の拡大や少子高齢化の進行に対して有効な施策を打ち出せていない日本の現状において、それを打破し社会的改革を先導していくうえで、本学が掲げるヒューマンイズムの旗はますます重要性を帯びてきていると思います。

たとえば、これまで本学がすでに取り組んできている、「白梅子育て広場」や小平市、国立市などとの連携事業において実際に市民や地域と連携した取り組みを積み重ねていることは、子育ての新しい公共的共有空間＝コモンズのモデルにつながりうるものです。それが、もし世界の自治体との連携にまで広がれば、本学が子どもの教育に関わるグローバルなネットワークのハブになる展開も見えてくるように思います。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

*本号は50号です。年間4号発行で12年間積み上げてきた蓄積があります。白梅学園大学・短期大学HPに49号までは載っています。

【Enjoy the Challenge～挑戦を楽しもう～】

白梅学園清修中高一貫部校長 南 和男

白梅学園清修中高一貫部はとても明るい学校です。窓も大きく取り、校舎の中央は吹き抜けとなり自然光が降り注いでいます。そして何よりも、生徒と教員とのアットホームな関係性こそが、本校を明るくしている最大の理由です。教員は生徒一人一人についてメモを見ないで語る事ができるほど近い関係にありながらも、チャイムはなく、連絡事項も掲示板から自分で手帳に書き取るなど、自主性を重んじる指導をしています。この程良い距離感が、風通しを良くし、和やかな雰囲気を育てています。毎日、学校の様子をホームページで更新しておりますので、是非一度ご覧ください。

私の学校運営は”Enjoy the Challenge”「挑戦を楽しもう」をスローガンに行っています。このメッセージは教職員だけではなく、生徒や保護者にもお伝えし、進路講話などを通して「やっておけばよかった」ではなく、「やっておいてよかった」と思える人生を選択しようと声掛けをしています。さらに、人が成長するために最も大切なことは「素直な心」であると話しています。物事があるがままに受け止める、他人と競争するのではなく、昨日の自分からどれだけ前進したか自問する、周りへの感謝を忘れないなどの心構えです。この心構えをベースに、探究学習や国際理解教育、キャリア教育をさらに充実させるよう日々取り組んでいます。

【東京大学×白梅学園清修中学校

～誰一人残さない世界へ～】

顧問:中澤 亜紀

清修中学校には、ANSS(Awareness of Natural Spirit at Seishu)という環境団体があり、地域の方との交流をはじめとする様々なボランティアに参加しています。活動内容は、生徒が自分たちで見つけます。誰かに言われて動くのではなく、自ら人の役に立ちたいと今日も清修生は誰かのために活動しています。中でも、東京大学の方と一緒にいる『協力者カミングアウト』の活動は、

SDGs目標 10“人や国の不平等をなくそう”に直結し、世の中を大きく動かす活動と言えます。「誰かの力になりたいけど、声をかけにくい」という経験はありませんか。そんな人たちの「協力したい」思いを知らせるためのシンボルマーク『マゼンタ・スター』。このマゼンタ・スターが1人でも多くの人に広がることを願って、私たちは活動し続けます。

代表生徒:橋本優花

マゼンタ・スターの普及活動を続ける魅力は、「直接誰かの役に立っている」と思えること。そして「自分の思い」を表現できること。私たち高校生は、自ら動かなければ社会のために活動する機会は少なく、実際に体感する機会はほとんどありません。しかし、マゼンタ・スターは「直接誰かの役に立っている」と感じることができます。

私が「素敵だな」と思ったマゼンタ・スターが、共感してくれる人のもとに渡り、それがまた広がっていく。そうすればいつかこの世の中は「助けたい」「誰かの役に立ちたい」という思いを持った人たちが溢れると思います。私たち高校生が、この思いを広めるということに意義があり、やりがいを感じます。私は、この思いが広がって誰一人取り残さない世界になることを願っています。

「ほっとスペース第二きよか」

開会から1年を迎えます

古瀬悦子(第二きよか世話人)

前身の「きよか」を引き継ぎ再開して6月で1年を迎えます。再開に向けて旧スタッフが何度か話し合いました。名前も新しく命名すべきか？会場は？提供する飲食物は？などなど限りなく、結論を出すまで時間を要しました。コロナ禍でblankがあり、その分皆さんの年齢も高くなり、行動範囲も狭まり、旧きよかとは条件が大きく変わっていました。

しかし参加者が心置きなく気軽に参加できる、楽しんで頂ける、そんな場所の提供をしたい、スタッフ一同の思いはきよかの時と変わらず、名称も「第2きよか」に決めました。そんな中でこの条件を満たせる一番の難関は会場選びでした。旧代表の石川貞子さんの思いを一番汲んで繋いでいこうとくださった熱い思いの瀧口先生が、ご自宅を開放してくださることになり、いよいよ6月、月1度の開会が実現しました。

現在月1度、まだ準備も不十分ですが、毎回足を運んでくださる方、あるいは包括支援センターの方、地区の民生委員の方々に支えられ、和やかに会話も弾んでい

るようにお見受けしています。時々白梅大学の学生さん、卒業生の方もお見えになり、これぞ「きよか」の求める世代間交流の一環だと頷けるものがあります。授業の関係で月1度の「第2きよか」への参加も厳しい中、皆さんと交流されているお姿は微笑ましくもあります。皆さんがお顔を合わせる、お話をする、自己紹介の中で新しい発見がある、初めて伺う皆さんの色々な活動、市、包括などからの情報、皆で合唱など交流を深めつつある！そんな状況の現在です。

やっと一年、軌道に乗りつつある・そんな状況ですがまだまだ改善の余地は多く、毎回の振り返りを次回に活かし、又瀧口先生のご自宅をご提供いただいていることから拝借するものも多く、寛大な先生に感謝し、ご厚意に報いるためには「第2きよか」が地域の皆さんに浸透して太い絆が生まれますよう努力していくことだと思います。

ヤングケアラーから学生・若者ケアラー支援へ

—そして全世代型の支援へ—

白梅学園大学ヤングケアラー調査研究プロジェクト

森山千賀子

2022年3月に出された大学3年生を対象にした国によるヤングケアラー調査報告において、「世話をはじめた時期が大学入学以前」(株式会社日本総合研究所(2022.3)であることや、18歳を超えてからケアがはじまる「若者ケアラー」存在が示されました。そして同年5月に

は国務大臣より、支援の対象は18歳までを念頭に置いた上で、必要な支援が特定の年齢で途切れることがないよう社会全体で支え伴走していく旨の答弁がなされました(第208回参議院内閣委員会会議録)。

白梅学園大学ヤングケアラー調査研究プロジェクトでは、2022年度末に小平市大学連携協議会(こだいらブルーベリーリーグ)参加校の教職員を対象に、高等教育機関における学生ケアラーに関するアンケート調査を実施しました。その結果、回答者39名のうち17名が学生ケアラーを発見しており、16件の事例があがりました。そのうちの5事例は、家族の中に就労している人がおらず、学生は複数の家族のケアを担っていました。つまりは、学業と複数者のケアに加え経済的な問題、ケアの重篤化し複雑化した課題を抱える学生ケアラーの存在が可視化されました。また、学生ケアラーの発見には、当事者からの発言が鍵という回答が多く、当事者が発言しやすい仕掛けづくりの一つとして、2023年6月から学内に「ケアラーサロンin白梅」を立ち上げました。具体的には、学内でのフードパントリー開催日(毎月第4火曜日13時~16時、同会場=旧若葉寮にて)に、学部の専門ゼミナール活動の一環(主に午頭・森山ゼミナ

ール)として、毎回ちよこつと話題提供の場を設け歓談しています。大学生、中高生、年代を問わずどなたでも、ふらっとお立ちください。

加えて2023年度は、東京都のHP「ヤングケアラーのひろば」の動画制作で本学が撮影場所になりました。動画は大学入学前後のヤングケアラーのドキュメンタリーです。また、HPでのスペシャルムービー・ダイジェスト版は、2024年4月10日、11日に、イギリスのマンチェスターで開催されたヤングケアラーの国際会議で、都のヤングケアラーに関する取組(英語字幕)として紹介されました。

学生・若者ケアラーは、自身の人生を左右する進学や就職、キャリア形成、結婚など、若い世代特有の課題、支援を考える必要があります。本人と家族まるごと支援(Whole Family Approach)そして全世代型の支援に広がることを期待します。

「ボッチャでこころを温めよう」イベントを開催して

小平市地域包括支援センター けやきの郷

中川 雅子

令和6年1月30日、小川町1丁目地域センターにて「ボッチャでこころを温めよう」イベントを開催した。当日の参加者は、2層・ボッチャ協会17名、地域住民18名であった。主催は西圏域地域の第2層協議会「ゆ〜&あいうえすと」のメンバーである。当日は、小平市ボッチャ協会の方々にもご協力いただいた。

2層協議会のメンバーは、「ボッチャ」というスポーツは、聞いたことがあるけど、やったことがないし、どんな人がするスポーツかわからないという声が多く、まずは「ボッチャ」を知る事から始めた。その際もボッチャ協会の方に丁寧に教えていただいた。

ボッチャの良い所は、初心者でも、年齢に関係なく子ども〜高齢者までどなたでも楽しめる所が魅力のスポーツである。ルールは詳しく学ぶと奥深いけど、まずは白いボール(ジャックボール)に出来るだけ近づける事。慣れてくれば少しずつルールが分かってくる不思議なスポーツである。

今回のイベントを開催した目的は、地域のつながりを作りたい。居場所となる場所を作り地域の絆を強めたいという思いにより開催に至った。人と人が一緒に過ごし笑いあう時間は最近すっかり忘れていたような楽しい時

間となった。

今回のイベントを通して、主催した「ゆ〜&あいうえすと」のメンバーより「人とのつながりが深まった」「1つのことをみんなでやると結びつきが強くなる」「カフェが良かった。コーヒーが美味しかった」「喜んでいる人がいて嬉しかった」「日頃からのつながりが大切だと改めて実感した」「またボッチャをしたい」等感想を頂いた。

今回のイベントを振り返り、今後も「ゆ〜&あいうえすと」のメンバーと、地域で楽しめるイベント開催や居場所の創設など地域を温かくする活動を行っていきたいと思う。

○次回のボッチャイベント○

「ボッチャでこころをつなげよう」～ボッチャとカフェのイベント～

・令和6年6月25日(火) 14:00~16:00 小川町1丁目地域センター 2F

・参加費:100円(保険代・お茶菓子代)

問い合わせ先:小平市地域包括支援センター けやきの郷 TEL042-349-2321

ちよこっとサービスたかの台「ちよこさ」発足

ちよこさ会員 吉田徹

2014年4月1日、「ちよこっとサービスたかの台」(略称「ちよこさ」)が発足しました。これは、会員9名によるボランティア団体で、地域のお困りごとを手助けすることを目的としております。費用は、無料。当初は30分500円を設定していましたが、ボランティア保険の関係で、無料としました。ただし寄付は受け付けます。サービスメニューは、1電球交換、2家具移動、3粗大ゴミ出し。申込は、当面地域包括センター・けやきの郷さん経由で受け付けます。詳細は、けやきの郷さんか、次のメルアドまでお願いします。

chokosa@outlook.jp.

メンバーは桃木弘治(代表)他8名です。準備不足ですが、とりあえず、発足し、手探りで改善、改良を重ね成

長していきたいと考えています。昔は、「向こう三軒両隣」といって、貧しいながらも近所同士で助け合っていた良い習慣がありました。私たちは、この活動を通してこの精神を大切に、安心して楽しく暮らせる地域コミュニティづくりを目指しています。専門メンバーはおらず、それぞれ他の仕事を抱えながらの活動です。なので、サービス項目も最小限となっています。対象地域は、原則、たかの台、上水新町2丁目、3丁目、小川町一丁目の一部を想定していますが、他の地域でも、可能な限り対応していく予定です。

利用希望者は、まず当サービスの会員になっていただきます。(住所、お名前の登録。無料)また、サービス提供会員も広く募集中です。

小平南西部地域乗り合いタクシーの実証実験運行に向けて 西ネット第51回懇談会報告

3月9日(土)西ネット第51回懇談会は「小平南西部地域乗り合いタクシーの実証実験運行に向けて」として、小平市公共交通課の照井課長にお話をいただきました。小平市は4つの区域に分けて公共交通の取り組みをすすめています。既に北東部、南東部、北西部においてはコミュニティバスなどの公共交通が実現しており、残すは白梅を中心とする南西部だけとなっています。コロナを挟んでコミュニティバスの実証実験を半年行いましたが、利用者が少ないということで実現しませんでした。

公共交通課では南西部地域の委員と相談して「小平南西部地域乗り合いタクシー」(以下「乗り合いタクシー」)の導入を目指してきました。そしていよいよ6月から実証実験がはじまるということで懇談会での話をしてもらうことになりました。

「乗り合いタクシー」は普通のタクシーのように電話やスマホでタクシーを予約し、時間になるとタクシーがやってきて目的地まで乗せてくれるというものです。地域内に50か所を越える乗降ポイントがあり、利用者はその乗降ポイントで待つというスタイルです。

普通のタクシーと違うところは自分一人だけのタクシー

ではなく、乗り合いなので他の人も乗せて別の目的地に向かいます。タクシーの台数が限られているため、移動地域が限定されること(西武国分寺線の西側と拝島線の南



側に囲まれた地域:小川1丁目、中島町、上水新町1~3丁目)そしてまずは登録することです。アプリで出来る人はそれぞれ登録し、難しい人は公共交通課に問い合わせてください。稲毛屋や西友への買い物、南台病院への通院等、片道300円(往復でも600円)です。是非活用してみてください。(文責:瀧口)

あそぼうかい & 世代間交流広場を開催

5月あそぼうかい代表

2024年5月18日に、あそぼうかい&世代間交流広場を開催しました。今回のテーマは「いざゆかむ！むかしの日本たんけんたい」と題し、普段なかなか触れることのできないむかしの雰囲気を感じられるような企画になることを目標に準備を進めてきました。当日には多くの方にお越しいただき、楽しんでもらうことができました。あそぼうかいでは、5つのコーナーが展開されています。5月あそぼうかいでのそれぞれのコーナーの様子をご紹介します。



参加者の方々に一番最初に関わる「受付コーナー」は、花札をイメージした装飾を施し初めにむかしの日本の世界に入り込めるような雰囲気作りをしました。名札ではだるまの形をしたものでオリジナルで顔を書けるなどの工夫をしました。また、スタンプカード配布し、各コーナーでのスタンプラリーも開催しました。

「制作コーナー」では、自分オリジナルデザインの浴衣・着物を作れる制作物を考え自分で作ることでよりむかしの文化を味わえる制作となりました。装飾では大き

なしだれ桜の木を作り1枚1枚花びらを貼る工夫をしました。「ホッとスペース」では、折り紙や塗り絵、折り紙など昔ながらの遊びを体験できるゆったりと遊べる空間にしました。



思い切り遊ぶための「あそびコーナー」では、お手玉に触れる機会を作るためにお手玉を使ったゲームや景品と交換出来る宝探しなど、思う存分遊ぶことの出来る空間作りをしました。

あそぼうかいの締めくくりとなる「おわりのつどい」では、花咲かじいさんの読み聞かせをパネルシアターのようにして視覚的にも楽しめるような工夫をしました。

これら5つのコーナーを参加者の方々に楽しんでいただくとともに、学生も一緒に楽しみながら学ぶことができる非常に良い場となりました。次回のあそぼうかいも、参加者の方々に「また来たい」と思ってもらえるような、楽しい空間作りや来てもらった皆さんが笑顔になって楽しめるようなイベントにしていきたいです。

5月の歌=「子どもの日」特集

金田利子(西ネット大学世話人)

- ・歌詞替えて歌う子どもの声聞きて 屋根より「低い」こいのぼり視ゆ
- ・明日(アス)じゃない今を大事に子ら遊ぼう 今が明日(アシタ)の今創る基礎
- ・戦争のさなかで泣く子に我が身置き 立ち上がろうよ平和目指して
- ・「子どもの日」こそ本当は「大人の日」子どものことを考える機に

生徒と講師の募集

中学生無料勉強会「分かった会」からのお願い

「小平西のきずな」48号にてこの西ネットとして取り組んできた中学生無料勉強会「分かった会」が10周年を迎えたことを報告しました。毎週木曜日夜、小川公民館において中学校1年生から3年生まで20人程度の中学生と11人の講師で勉強会を行っています。講義をするのではなく、子どもたちが分からないところを一人一人丁寧に説明し、「分かった」と思えるまで対応します。この10年間で中学校を卒業して進学していった子どもたちは50人を越えています。

「10周年記念誌」で会の代表をしている奈良さんは「生徒が『分かった！』と顔をほころばせることを期待しながら、講師たちは『継続は力なり』をモットーにして今宵も灯(ともしび)をたやさず頑張ってきています。今後地域の方々の皆さんからのご支援に感謝しつつ、学習支援を続けていきたいと思っておりますので、よろしくお

願いします。」と呼び掛けています。

今年の3月に中学3年生8人が卒業し、現在1年生を中心に募集しています。2年生や3年生も今年はゆとりがありますので近所で該当する方がおりましたらお知らせください。なお9月からは中学3年生対象に火曜日にも高校受験対策の勉強会を行っています。

現在講師は9名ですが仕事や家庭の事情で休まなければならないときもあり、少し不足気味です。子どもたちと一緒に勉強しながら子どもたちの頑張りにもエネルギーをもらい、昔勉強した数学や英語などを学びなおすのも楽しいです。

生徒及び講師の申し込み連絡先は以下の通りです。

187-0032 小平市小川町 I -755-2-106

瀧口優 (080-3450-6878)

takiguchi-masaru@iaa.itkeeper.ne.jp

毎日 10 種類を食べましょう

—「第二きよか」の「食事と歯科の出前講座」から—

5月13日(月)第二きよかでは、小平市がすすめる介護予防の出前講座を受けました。歯科衛生士からは、歯の管理、歯磨きの大切さなどについて話が出されました。管理栄養士からは食事の内容について次のような言葉が紹介されました。(1日の摂取)

- ① さかな(魚):片手一つ分
- ② あぶら(油):大さじ一杯
- ③ にく(肉):片手一つ分
- ④ ぎゅうにゅう(牛乳・乳製品):1杯(1パック)
- ⑤ やさい(野菜):片手3つ分
- ⑥ かいそう(海藻):少量
- ⑦ いも(芋):片手一つ分
- ⑧ たまご(卵):1~2個 なら半丁
- ⑨ だいずせいひん(大豆製品):納豆1パック、豆腐
- ⑩くだもの(果物):片手一つ分

→さあにぎやかに いただく

◆朝食:⑧たまご、⑤サラダ、④ヨーグルト、⑩バナナ(食パン)、③ベーコン

◇昼食:⑨納豆、⑦じゃがぱた、

◆夕食:①サケ、⑥海苔 ②⑤野菜炒め

*もちろん、この他に主食や汁となるものがあります。

皆さん、コミュニティ・サロン(下の①～④)と「中学生勉強会」(④)に足を運んでみませんか?

お待ちしております!

① ほっとスペースさつき

毎週火曜と木曜 10:00～16:00 (移転先検討中)

② ほっとスペース第二きよか

毎月第1月曜 13:30～15:30 参加費 200円 (移転先:小平市小川町1-755-2-106) 問合せ:瀧口優 TEL:080-3450-6878

*2023年7月10日(月)「ほっとスペース第二きよか」がスタートしました。参加費 200円

*9月からは第一もしくは第二月曜に実施しています。(今後の予定は7月01日、8月5日、9月2日、10月7日) 13時30分～15時30分

③ カフェなかじま

毎月第1水曜日(祝日の場合は第2水曜日) 13:30～15:30 中島地域センター 参加費 100円

④ 「分かった会」小中無料学習教室

毎週木曜日 18:00～20:00 (小川公民館) 問合せ:奈良 勝行 (講師募集中!) TEL:090-4435-4306

9月からは火曜日も中学校3年生用として開室しています。

イベントの予定

- ・06月30日(日) 11時～だれでも食堂「ゆらり」小川西公民館
- ・06月30日(日) 11時～だれでも食堂「おがわん」小川ホーム
- ・07月03日(水) 11時00分～世代間交流カフェ 白梅I24教室
- ・07月13日(土) 13時～白梅学園大学子育て広場
- ・07月14日(日) 11時～子ども食堂「アンファン」小川公民館
- ・07月28日(日) 11時～だれでも食堂「おがわん」小川ホーム

西ネットの今後の予定

- 地域世話人会:** 07月09日(火) 18時～
- 大学世話人会:** 07月23日(火) 18時～
- 大学世話人会:** 09月03日(火) 18時～
- 地域世話人会:** 09月10日(火) 18時～
- 地域懇談会:** 09月24日(火) 18時～

西ネットの世話人

ブロック	地域世話人	大学世話人
1	西 克彦・丸山安三	瀧口 優・杉本豊和 福丸由佳
2	足立隆子・芳井正彦・ 今野志保子	午頭潤子・土川洋子 吉村季織
3	大内智恵子・久保田進・ 杉浦博道・吉田徹	金田利子・草野篤子 西方規恵・牧野晶哲
4	桜田 誠 細江卓朗	井原哲人・森山千賀子
全体		奈良勝行

*西ネット創立以来第4ブロックの世話人をお願いしていました渡邊穂積さんが、1月に亡くなられました。謹んでご冥福をお祈りします。

お願い: この広報紙『小平西のきずな』の編集方針は、「顔の見えるネットワークづくり」を目指して参加団体(者)の活動などを紹介し、文字通り「市民のきずな」を築いていこうとするものです。ニュースの全部または一部を改編することはお断りします。もし使用したい場合は編集担当までお申し出下さい。

投稿募集: このニューズレターは皆さんと一緒に作るものです。活動の報告やイベントの企画などについての原稿をお寄せください(奈良勝行)。

メール: ever.onward.nara@xd5.so-net.ne.jp

編集後記: 「小平西のきずな」も今回で50号を迎えます。西ネットのスタートから12年が経過し、地域では対面で集まる機会が増えていて、多くの人が「会いたい」「話したい」と思っています。徐々に枠を広げて行けたらと思います(瀧口)。